１年文理探究科　探究サマーキャンプ実施報告書

・８月４日・５日、１年４組文理探究科生徒３０名を対象に、兵庫県多可町「多可青雲の家」で１泊２日の宿泊研修を行いました。暑い中でしたが、子どもたちにとって実り多い研修となりました。

［研修目標］「防災を探究する」

① 自らの力を使って自分自身の安全を守る「自助」や、自らの安全を確保したうえで周囲の人々と助け合う「共助」について学び、個々の防災に対する意識を高める。

② アウトドアの体験的活動を通し、課題解決能力や自己肯定感を高める。

③ 相互の信頼関係を深め、コミュニケーション能力を高める。

④ チャレンジ精神を養い、リーダーシップを育成する。

［研修報告］

・３０名全員出席。天候にも恵まれ、体調不良もなく１泊２日の研修を予定通り終えることができた。

・事前学習として７月２４日に外部講師（兵庫県教育委員会事務局　原口 攻一郎 先生）による特別授業を実施し、水害への対応やフィールドワークの手法について学んだ。

内　容：猪名川河川レンジャーの活動、水害（洪水）に対する避難、ハザードマップの見方、探究活動の方法（身近な河川〔志筑川・宝珠川〕についてのフィールドワーク）　…　など

１日目：アウトドアの体験活動を通し、自己肯定感や責任感、協働する力を育む。

探究①：身近な「あぶない！」をさがそう

内　容：課題を見出す力を育むことを目的としたフィールドワーク。施設周辺を散策し、危険が想定される場所や危険を防ぐための工夫を発見した。

探究②：簡易避難所作り

内　容：限られた材料（ブルーシート・ロープ・ガムテープ・ダンボール）を使用し、グループで協力して独自の日よけの制作を行うことで、緊急時の簡易テントの作成方法について学んだ。

探究③：炊き出し体験・空き缶炊飯

内　容：グループで協力しながら、大人数でのカレーの調理や飯ごう炊さん、アルミ空き缶を使用した炊飯方法について学んだ。

２日目：グループで協働し、課題を自分事として捉え、解決策を考える。

探究④：一日前プロジェクト

内　容：被災者や災害対応にあたった方へのインタビューやエピソードを教訓として、災害を自分事としてとらえ、さまざまな状況に応じた災害への対処法について考えた。

探究⑤：防災ゲーム「ダイレクトロード」

内　容：架空の災害（地震・火災・津波）発生から避難までのシミュレーション。即席で結成されたチームで、与えられた情報から被害状況の把握や整理、避難や救助の指示など、災害への対処を制限時間内に考えるワークを通し、緊急時に自分たちができることを学んだ。

［研修風景］